

1月例会の開催について（通知）

1月例会（定期学習会）を下記の通り開催いたします。

記

1. 日 時： 令和2年1月11日（土） 13：30～15：00
(13：20現地集合)
2. 集合場所： 高岡公民館（津市一志総合支所西隣）
(〒515-2516 三重県津市一志町田尻605-2 ☎059-293-5611)
3. テーマ： 「三重の社日信仰の今 ～土の神・農耕神の祭り～」
4. 交通のご案内：
 - (1) 電車を利用される場合
 - ・近鉄電車の方は伊勢中川駅で大阪線に乗り換え、
「川合高岡駅（1区間）」下車
 - ・津駅12：24発→伊勢中川駅（乗り換え）→川合高岡駅13：07着
 - (2) 車を利用される場合
 - ・直接現地にお越しください。
5. 講 師： 西田 久光 氏（~~株~~ 三重ふるさと新聞会長、津観光ガイドネット会長）
6. 資料代： 100円

【解 題】

「社」は土の神、その祭り。「日」はその祭りをを行う日のこと、春社と秋社の年2回ある。元は四書五経の一つ『礼記』に記されるように皇帝の祭祀。土の神を祀り、食糧を得て、民を飢えさせず、国家安泰を図るもの。天明元年、京都の民間学者が日本風アレンジした「社日祭祀」の提言書『神仙靈章春秋社日醮儀』を出版。これに共鳴した神官、僧侶、修験者らが普及に努め、中には徳島藩、佐倉藩のように藩が地域再生の新しい手法として取り組んだところもある。祭祀の中心である「五神名社日碑」「社日碑」は、関東、四国、中国、九州、開拓農民が故郷の信仰を持ち込んだ北海道などに偏在するが、全国で数千基確認されている。

西田氏らは美杉八知の仲山神社玉垣内で全国でも7番目に古い「五神名社日碑」を発見して以来、今年3月まで3年半余にわたり「三重の社日さん」の県内全域調査を実施。その結果をまとめ、西田氏は7月に「三重の社日信仰の今」を上梓した。調査期間中のこぼれ話や本の概要などを語る。

(担当：伊藤達)

以 上

1月例会(1/11)に参加します。

氏名:

勤務先:

当日緊急連絡用:

(携帯電話番号等)

交通手段: 公共交通機関 ・ 自家用車

※どちらかに○印をつけてください

《申込先》 FAX 059-231-6403
